

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
事業説明会資料

2005年9月1日

目次

- ・ 概要**
- ・ 機能と役割**
- ・ 経営目標**

概要

セブン & アイ HLDGS.の企業理念

1. 社是

- ・私たちは、株主に信頼される、誠実な企業でありたい
- ・私たちは、お客様、取引先、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい
- ・私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい

2. 使命

- ・迅速な意思決定による事業ポートフォリオの最適化を推進し、
グループ企業価値の最大化を図るとともに、
グローバルな「新・総合生活産業」を目指す

「セブン」は、7つの主要な事業領域を表します

1. コンビニエンスストア 2. スーパーストア 3. レストラン
4. スーパーマーケット 5. 百貨店 6. 金融サービス 7. IT/サービス業

7つの主要な事業を中心に、専門店、製造加工業、出版、警備/不動産業など、幅広いサービス機能を持った、豊かで、快適な生活を支える「新・総合生活産業」の構築を目指します。

「アイ」は、innovation(革新)のi(アイ)と「愛」を表します

つねに新しいことにチャレンジし、終わることのないinnovation(革新)を続けることで、お客様に愛され、信頼される企業集団を目指します。



オレンジ

Challenge (挑戦)

つねに上昇・挑戦を続けようとする朝日をイメージした色です。



レッド

Passion (情熱)

強い情熱・決意のシンボルである炎を表現した色です。



グリーン

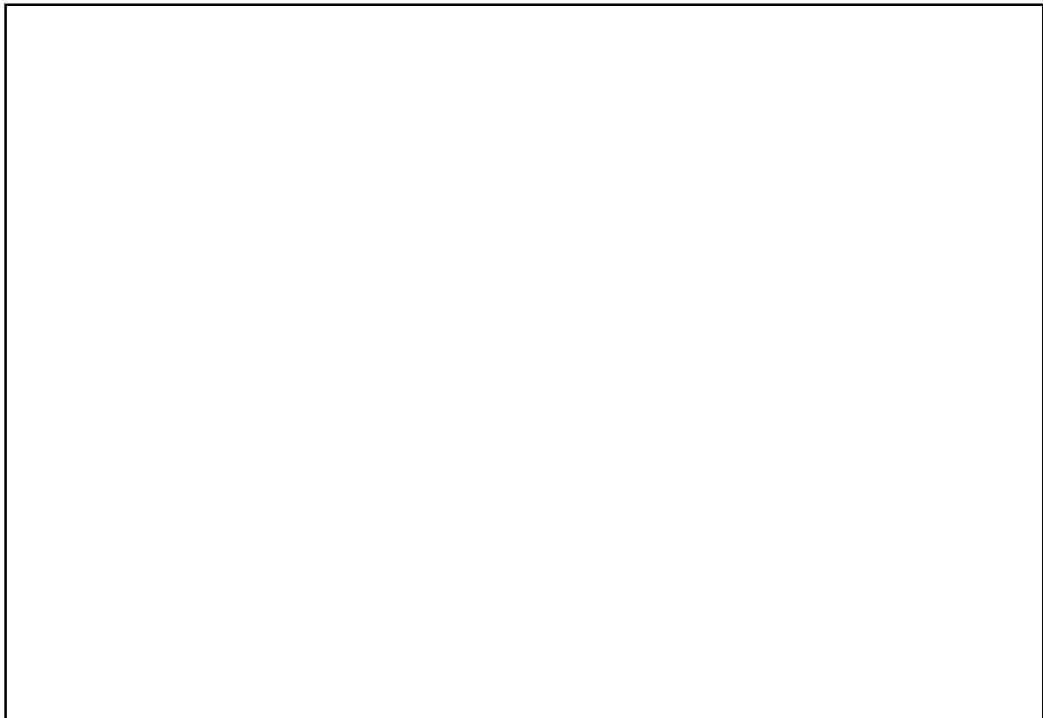
Oasis (オアシス)

オアシスの水辺に生きる生命のシンボルである緑を表現した色です。

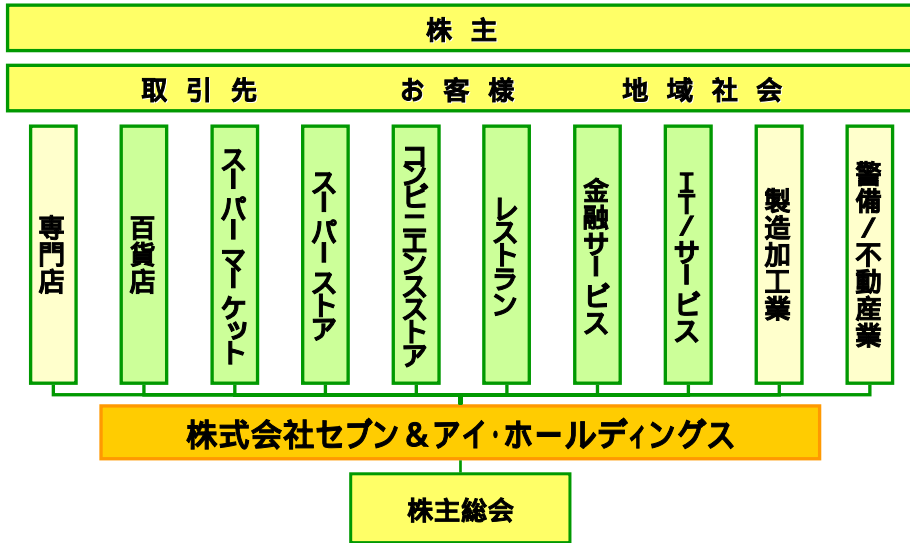
会社概要



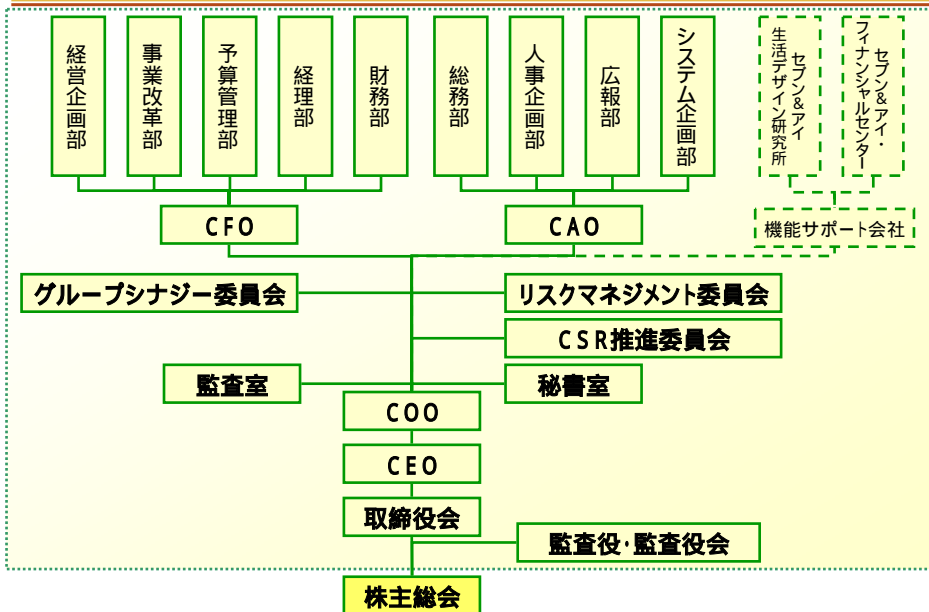
社名	株式会社セブン＆アイ・ホールディングス (英文) Seven & I Holdings Co., Ltd. (略称) セブン＆アイ HLDGS.
設立形態	セブン-イレブン・ジャパン(1.0)、イトーヨーカ堂(1.2)、デニーズジャパン(0.65)の3社による共同株式移転方式 * ()内は株式移転比率
設立日	2005年9月1日(株式移転日)
上場取引所	東京証券取引所第一部 コード番号: 3382
役員	代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO) 鈴木 敏文 代表取締役社長兼最高執行責任者(COO) 村田 紀敏 取締役兼最高財務責任者 (CFO) 氏家 忠彦 取締役兼最高管理責任者 (CAO) 後藤 克弘 取締役 11名(うち社外 2名)、監査役 5名(うち社外 3名)
資本金	500億円



セブン&アイ HLDGS. の事業領域



セブン&アイ HLDGS.の組織図



- ・企画機能 : グループ経営戦略の企画・立案
- ・経理機能 : 連結決算対応、税務戦略の企画・立案
- ・財務機能 : 財務戦略の企画・立案、IR対応
- ・総務・法務機能 : 総務全般、法務戦略の企画・立案
- ・広報機能 : 広報戦略の企画・立案、ブランド管理
- ・人事機能 : 人事制度、人事政策の企画・立案
- ・システム機能 : システム戦略の企画・立案、グループシステム統合推進
- ・監査機能 : グループ全体の監査統括

・機能と役割

1. グループ企業価値の最大化

各事業会社の垣根を排除したシナジー効果追求

管理部門統合によるコスト削減

2. コーポレートガバナンスの強化

各事業会社の自立性と自己責任の明確化

モニタリングに基づく、経営資源の適正配分

1. 新規事業を中心とした事業再編の推進

2. 事業再編推進のための財務戦略の構築

3. グループ機能の高度化

MD面でのシナジー効果の追求: 調達・物流・商品開発・販売

管理部門の統合: 高付加価値サービスの提供とコスト削減

知的財産の一元管理

CSRを重視した企業行動

1. グループの経営と事業会社の運営を分離する体制

役割の明確化

2. グループ全体の内部統制強化

セブン&アイ HLDGS.が主導的に運営

3. ステークホルダーへの説明責任

セブン&アイ HLDGS. は、グループを代表する上場企業として、説明責任を実行

1. セブン&アイ HLDGS. の役割 <主に株主の立場に立って>

ガバナンスの統括

グループを代表する上場企業として、

グループ企業価値最大化を目指した行為を推進

グループシナジーを追求する機能

2. 事業会社の役割 <主にお客様の立場に立って>

与えられた事業範囲での責任を遂行

自立性を発揮しながら、利益成長及び資本効率向上を追求

1. 利益還元政策の基本

利益向上に見合った配当金による利益還元

配当性向の重視

今後の配当金額: 今期の年間50円がベース

2. 目標連結配当性向

35%を維持しつつ、さらに向上を目指す

株式移転前所有株式1株当たりの配当金

株式移転前の所有株式	株式移転 交付金	セブン&アイ HLDGS. の期末配当金	年間配当金
セブン-イレブン・ジャパン	21.50円	28.50円	50.00円
イトーヨーカ堂	16.00円	34.20円	50.20円
デニーズジャパン	15.50円	18.525円	34.025円

セブン&アイ HLDGS. 1株当たりの期末配当金 28.50円
(普通配当21.50円、記念配当7.00円)

セブン&アイ HLDGS. 株式への株式移転比率

セブン-イレブン・ジャパン株式 1:1
イトーヨーカ堂株式 1:1.2
デニーズジャパン株式 1:0.65

. 経営目標

2009年2月期の経営目標



決算期	05.2期実績	06.2期計画	09.2期目標 (05/4/20公表)	05.2期比	09.2期目標 (シナジー効果含む)
	IY 連結	7&i HD 連結	7&i HD 連結		7&i HD 連結
営業収益	36,236億円	37,000億円	45,000億円	24%増	-
営業利益	2,120億円	2,330億円	3,100億円	46%増	3,400億円
当期純利益	172億円	1,147億円	1,700億円	888%増	-

連結業績目標: 営業利益及びROE



	05.2期実績		06.2期計画	09.2期目標		
	IY連結	構成比	7&i HD連結	7&i HD連結	構成比	05.2期対比
コンビニストア	1,954億円	92.2%		2,400億円	71%	123%
スーパーストア	78億円	3.7%		450億円	13%	577%
レストラン	36億円	1.7%		80億円	2%	222%
金融関連	54億円	2.5%		150億円	4%	278%
その他	2億円	0.1%		20億円	1%	1000%
営業利益	2,120億円	100.0%	2,330億円	3,100億円	91%	146%
MD・仕入れ面でのシナジー効果				260億円	8%	
経費面でのシナジー効果				40億円	1%	
シナジー効果を加えた営業利益				3,400億円	100%	160%
ROE	1.5%		8%	10%		

1. セブン & アイ生活デザイン研究所

新しい生活の方向性を明確に提案

MD改革に向けた「情報一元化」と「情報価値創造」

2. 衣料事業部との連携による具体的な戦略

戦略計画

MD・VMD・宣伝広告・販売の全てを、一貫軸で連動して動かす仕組みの構築

戦略計画

プライベートブランドの構築とブランド戦略の取り組み

戦略計画

仕入れ政策の計画化と仕入れルートの再構築

グループMD体制の抜本的改革

1. 改革の目的: グループ企業価値の最大化

グループ全体で持つ「強さ」の共有と、一層の向上

仕入れの一本化(直接・間接材): 企画・購買力のフル活用

2. 推進体制

グループシナジー委員会にグループMD部会の設置

改革の進捗管理と調整

3. 実例: 食品部門における取り組み

グループ開発チーム

生鮮素材開発チーム

インフラ共通・共有チーム

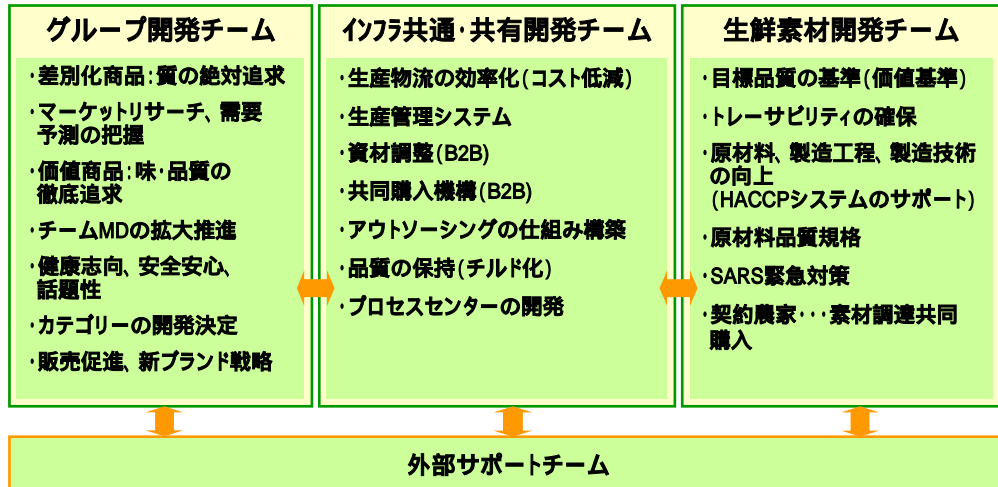
差別化商品(オリジナル商品)の強化

商品品質に対する安全性・信頼性向上

共同調達、仕入先・納品先統一

「売上の向上 + 利益率の向上」の追求

食品部門における取り組み



IYの店舗政策



1. 出店計画

ドミナント出店の強化

原則的に三大都市圏に集中

店舗形態の多様化

立地商圏特性による店舗形態(RSC・GMS・NSC)の選択

モール・エスシー開発の強化と活用

4年間(06.2期～09.2期)の出店計画: 17店舗

2. 閉店計画

収益性を重視した店舗閉鎖の実行

4年間(06.2期～09.2期)の閉店計画: 30店舗強

グループシステム統合



システム基盤 / 物流・管理業務システムは、**グループ全体で統合し**、
 営業業務(店舗・本部)システムは、**業態で統合する**。

